

継続雇用制度と OTS の現状

The OpenTalkS



vol.180
February
2025

「人間五十年 下天のちを比ぶれば 夢幻の如くなり」と信長が敦盛を舞ったのは遙か 450 年昔
今や【人生 90 年時代】とも【100 年時代】ともいわれる、国民皆長寿な時代となりました。

定年となる 60 歳の印象も一昔前とは大きく変わり、体も心も十分に充実し
まだまだバリバリ現役で働きたいという人も多いのではないのでしょうか。



今月の OpenTalkS! では OTS の定年再雇用制度とその現状についてお伝えいたします。

日本における定年後の再雇用制度は、高齢者の雇用安定と生活支援を目的に法整備が進められてきましたが
現在では少子化による人手不足や年金支給年齢の引き上げ、また公衆衛生の発展による健康寿命の上昇もあり
定年後も引き続き働くことが、雇用者、被雇用者双方に大きなメリットをもたらすものとなっています。

OTS では現在 60 歳の定年制となっていますが、2006 年に就業規則を改定し 65 歳まで再雇用する制度
を整備いたしました。それ以前も慣例として定年後も引き続き雇用していましたが、しっかりとルール化すること
で労働者にとっては利用しやすく、安心して働き続けることができる会社となりました。

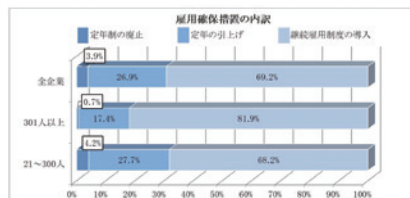
65 歳以降も双方の合意のもと、雇用を延長できる取り決めもあり、事実多くの方が 65 を超えて OTS で活
躍しています。(65 歳以上 67 人、70 歳以上 32 人 ※パート社員含む)

今回の OpenTalkS! では長年 OTS で働き、定年後も活躍しているシステムの岸川さんと、湾岸センターの
菊地さんに働き方の変化や、定年後も働くことについてお話を聞かせていただきました！

data

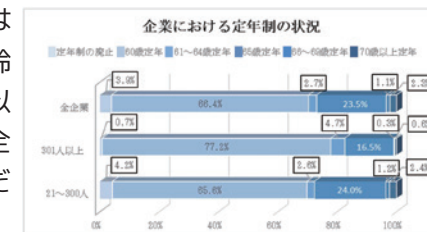
日本では「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」で 65 歳までの雇用確保のために定年制の廃止、定年の引き上げ、継続雇用制度の導入のいずれかの措置を講じるように企業に義務付けている。

OTS では現在 60 歳の定年制となっており、65 歳までは継続雇用制度を導入することで、雇用を確保している。右表によると、日本の約 70% の企業が同様に継続雇用制



度の導入を選択していることが示されている。

将来的には年金の受給年齢の今以上の引き上げの可能性もあり、定年年齢自体を引き上げていく事が企業には求められると想定できる。右表は企業における定年年齢の状況である。65 歳以上となっているのは全体の約 25%とまだまだ少数である。



出典：厚生労働省【令和五年 高齢者雇用状況等報告】

interview 情報システム部 岸川さん

再雇用時はどんな経緯でしたか？

ありがたいことに、定年後も引き続き働いてほしいと声をかけていただき、私もその意思がありましたので再雇用となりました。正式な取り決めの前に、労働時間や働き方をどうするかという話し合いの場が設けられ、その際は働く側の希望を優先していただけたという話でした。

私自身はシステム担当で体を動かす仕事でもないので、引き続きこれまで通りの日数と時間で働きたい旨お伝えし、実際そのように今も働いています。

定年後に働き方の変化はありましたか？

あまりなかったですね。ルールとして役職は外れて責任者という立場ではなくなりましたが、引き続きシステム部サポートチームのメンバーの評価者でもあるため、厳密に管理者ではありませんが、お目付け役という感じで働かせてもらっています。

ただ今年新たに係長に昇格したメンバーがいるので、今

後彼が管理者に向けて成長できるようサポートしていくという動きが必要になるかなと考えています。

対外的にはこれまで同様 SE としてお客様とのやり取りもあり、定年前と働き方に大きな変化があったという感じはありません。

後進に向けてのメッセージ等お願いいたします！

技術の進歩は日進月歩です。私がシステムの仕事をしているため余計にそう感じますが、最近はそのスピードが劇的に速くなっていると感じます。OTS に一番大事なのは解決力と現場力です。OTS が今後も競争力を持ち続け、より品質の高いサービスが提供できるよう、常に新しい情報を学び、時代に乗り遅れないように私自身も含め皆で頑張っていくことが大事だと思います。



1992 年入社

interview 湾岸センター 菊地さん

再雇用時はどんな経緯でしたか？

55 歳くらいから自分の定年後のことは意識し始めていて、会社に提出する自分のキャリアデザインシートにも定年後も働きたいと書いていました。

引き続き働くのが当たり前だと思われていたのか、実際に 60 歳後の再雇用について声をかけてもらったのは定年の 3~4 カ月前で、内心ちょっとドキドキしていました。笑

定年後に働き方の変化はありましたか？

定年後一年目はすごく難しかったです。当時のセンター長から定年後一年は、これまでと同様の役割で働いて欲しいと言われていました。とはいえ定年で役職は外れるため、自分自身も、周りの人もどういった立場なの？というような移行期特有のモヤッとした



1995 年入社

感じがあったのは良く覚えています。

自分がどういった立ち位置で発言すればよいのかを考えすぎてしまい、発言も控えめになっていたように思います。(笑)
二年目には自分が抜けた役割を若い人達がしっかりと補ってくれるようになったのもあり、私自身も自分の立ち位置というのを少し楽に考えられるようになりました。

働き始めて気持ちの変化などありましたか？

働きたい意思があれば長く働ける会社であるというのがありがたいです。私自身この年になって新しい顧客を担当させてもらい、会社やお客様からも求められているという実感があります。

単に金銭面のためというだけでなく、人生を豊かにするという意味でも、自分にとっては定年後の再雇用はとても価値のあることだと感じています。

